

訃報 阿部恵子先生 逝く

2017年2月15日、阿部恵子先生が病のため急逝されました。

本学会の微生物研究者のリーダーとして、微生物WGを立ち上げ、いち早く空気清浄機の除菌性能評価法の共同研究を行い、「学会認定法」とされた事は大きな功績です。阿部先生の大発明である「カビセンサー」は、文化財保存施設をはじめ、あらゆる室内環境のカビ発生の可能性を見極める画期的な指標センサーです。室内環境真菌の師匠とも言える阿部先生の早過ぎる逝去は、唯々残念でなりません。心よりご冥福をお祈り申し上げます。追悼の意を表し、微生物分科会有志による追悼文を捧げます。

(株)エフシー総合研究所暮らしの科学部長・川上裕司)



阿部恵子先生ご略歴

1968年3月 聖ヨゼフ学園高等部 卒業
 1968年4月 千葉大学農学部園芸学科 入学
 1972年4月 東京大学農学部大学院 入学
 1978年3月 東京大学大学院博士課程修了（農学博士取得）

横浜市立大学、関東学院大学などの非常勤講師、国土開発株式会社との契約研究員を経て、環境生物学研究所設立 所長就任

2017年2月15日 逝去 微善恵妙信女

阿部恵子先生研究業績（一部抜粋）

Abe, K. : A Method for Numerical characterization of Indoor Climates by a Biosensor using a Xerophilic Fungus. *Indoor air*, 3, 344-348, 1993.

阿部恵子：好乾性カビをバイオセンサーとする室内環境評価法，防菌防黴，21，557-565，1993.

阿部恵子：カビによる環境測定法～カビは空気環境を認識するセンサーである，空気調和・衛生工学，69，519-525，1995.

Abe, K., Nagao, Y., Nakada, T., and Sakuma, S. : Assessment of indoor climates in an apartment by use of a fungal index, *Applied and Environmental Microbiology*, 62, 959-963, 1996.

阿部恵子：エアコン冷房時のカビ指数とカビ汚染，室内環境学会誌，1，41-50，1998.

阿部恵子：カビ指数による室内環境評価，防菌防黴，29，557-566，2001.

阿部恵子：カビセンサーを用いた床下環境の実態調査，室内環境学会誌，6，124-125，2003.

阿部恵子：カビ発育から測定する実測カビ指数と温

湿度から計算する予測カビ指数の比較，室内環境学会誌，9，17-24，2006.

阿部恵子：保存科学としてのカビ対策～住まいを含めたカビの現状と対策～，防菌防黴，35，667-675，2007.

阿部恵子・須山祐之・川上裕司・柳宇・奥田舜二・大塚哲郎：微生物ワーキンググループ活動速報（2）一空気清浄機による空中浮遊カビ孢子（生菌）の除菌性能の評価例一，室内環境，10，163-166，2007.

Abe, K. : Assessment of the environmental conditions in a museum storehouse by use of a fungal index, *International Biodeterioration and Biodegradation*, 64, 32-40, 2010.

Abe, K. : Assessment of home environmental with a fungal index using hydrophilic and xerophilic fungi as biologic sensors, *Indoor Air*, 22, 173-185, 2012.

阿部恵子・村田朋美：収納袋の素材が内部のカビ発育に与える影響，室内環境，16，89-95，2013.

Abe, K. and Murata T. : A prevention strategy against fungal attack for the conservation of cultural assets using a fungal index. *Int. Biodeterior. Biodegradation*, 88, 91-96, 2014.

阿部恵子先生の思い出

この程の突然のご逝去に心から哀悼の意を表します。今から25年前（平成4年），ある顧客さんが除湿機の専門家を探しているという日立本社からの呼び出しが出会いの切掛けでした。当時，除湿機の増産を目論んでいたもので，勇んで指定のホテルオオク

ラに行くと、美顔でインテリジェンスのある先生が居られ、隣接の大倉集古館の美術品にかびが生えないようにする相談でした。集古館は空調設備がないため、除湿機を11台セットすれば良いと申し上げました。その時、先生からエアコンからかびが出ない構造について提案がありました。共同で特許出願の案を作りました。初対面での4時間、コーヒーのお替りが何杯続いたことでしょうか。後になって、先生から埋橋さんは大層興奮していましたねと笑われました。それ以後、室内環境研究会(副会長)・室内環境学会(大会長)・分科会(主査)などでいつもご指導、ご鞭撻をいただきました。私も傘寿になりました。もうすぐ先生に再会できる日が来るでしょう。

(アンベック代表・埋橋英夫)

ママで博士の大発明

「自宅の壁には、カビセンサーが厄除け札の様に至る所に貼られていました。」お葬式での阿部先生の御主人のお話です。出産のため一時、職から離れられましたが、研究だけは続けられていました。母親と博士の両立。気がついた時には、自宅は研究所に様変わりし、いたる所に実験器具が置かれていたそうです。きっとフラスコでミルクを暖めるような様子だったのでしょ。

子育てが一段落されてからは、厚木に環境生物学研究所を設立、同時期に鎌倉七里ヶ浜にマンションを購入されて個人の研究スペースも確保されました。日中はほとんど鎌倉七里ヶ浜で実験や論文の作成に没頭され、時に大好きだった富士山と海を窓越しに眺め、しばしの休息を愉しまれたそうです。

そんな中で、発明されたのがカビセンサーでした。カビセンサーは、カビ指数という単位を使って、カビの生えやすさの度合いを数値化できる試験片です。生命の状態を数値化する。それは誰の考えも及ばないことです。かけ離れたものを結びつけたママで博士たる阿部先生ならではの画期的な発明だったと思います。生前の先生の穏やかなお人柄が偲ばれます。

(株)アメニティ・テクノロジー代表取締役・永安克志)

阿部恵子先生を偲んで

あの若さで卒然と我々の前から去られました。唯々辛いです。阿部先生を知ったのは、私の専門の労働衛生から、歯科医療における院内感染対策に移行し、漸く医療従事者へのB型肝炎ワクチン認可へ繋がり、

その後医療従事者への感染リスクを主な研究活動に移行時でした。歯科医療施設内浮遊細菌の同定で、真菌についての知見を阿部先生に求めたことが、共同研究をお願いしたきっかけでした。ある時、某企業から高純度の銅をスポンジ状に加工した材料の提供があり、直ちに空中浮遊細菌の制御用に空気清浄装置に応用する提案をしたところ、米国銅協会より研究費を得ました。これは、阿部先生の研究成果を含めた、プレゼンテーションが評価されたものに他なりません。その後、阿部先生が代表の微生物WGにおいて「空気清浄装置の性能評価方法」を学会基準として報告しました。関わった諸先生方と実験が終わった後に、乾杯し、愉快に笑い、歌ったことを、あの美しい歌声と愛くるしい素敵なお顔とともに思い出します。阿部先生にご指導頂いた、この10余年は、私にとってかけがえのない思い出と財産になっています。決して忘れることはありません。

(株)健康科学代表取締役・須山祐之)

女性研究者 阿部恵子先生の思い出

阿部先生との出会いは、約20年前のことです。当時カビについて困り、先生が開発された「カビセンサー」を見つけ、ご相談したのが始まりです。その後、当社にお越しいただき、カビの講演をしていただきました。20年前の建設業は、女性技術者も少なく、女性博士が男性社員の前で講演されるお姿は、非常に頼もしく、新鮮な記憶として今でも覚えています。先生は女性らしさ、華やかさがある一方で、男性的な発想、行動力をお持ちです。学会では赤を基調としたスーツで参加され、積極的に発言されます。しかし、若手研究者が先生にお声をかけると穏やかに説明されるのです。女性として、研究者として尊敬できる魅力ある先生です。その先生とカビやプライベートなお話をするのができなくなり残念です。去年夏の建築学会で、「武廣さんの発表を聞いてあげないとね。」とおっしゃっていたのが、私にとって先生との最後の思い出となりました。我々一同、先生がお築きになった「建築物のカビ対策」のご遺志をしっかりと受け継いで参ります。心からご冥福をお祈り申し上げます。

(鹿島建設(株)技術研究所・武廣絵里子)